

Ⅶ 広島県

事業開始日	平成 18年 7 月 1日
-------	---------------

1 各モデル地域の事業の状況について

1) 本事業実施前の地域の状況と課題

(1) 事業実施の前年度の分娩を取り扱う病院・診療所・助産所の状況

	分娩を取り扱う施設			
	病院	診療所	助産所	その他(自宅等)
施設数	33	42	6	
分娩数	14, 800	9, 551	61	..

(施設数:平成 19 年 4 月 1 日現在)

(分娩数:平成 18 年 1 月～12 月 広島県医療機能調査結果)

(2) 地域の産科医療の状況と課題

① 行政の視点

- 産科医療機関の分娩中止・休止により、中核となる病院に分娩が集中し、周産期母子医療センターにおいても分娩数が増加しており、緊急時の母体搬送等の受け入れが困難となることが懸念される。
- 分娩取扱機関が減少する状況において、分娩を行う医療機関の産科医の勤務がますます過酷になっており、病院と診療所の機能分担と連携体制の構築が必要である。

② 産科医療機関の視点

○ 地域の産科医療の状況

一般の産科施設が分娩に関わるリスクを極力避けようという傾向が一層強くなったため、ハイリスクのみならずミドルリスクさらには医学的にはローリスクの妊婦までも総合周産期母子医療センターに紹介されている。

同様に、単なる遷延分娩、分娩停止などの理由による緊急母体搬送も増加しており、これらが、母子センターの負担を増加させている。

- 周産期医療を担当したいという意欲のある医師の確保が困難であり、このため

現状の母子センターの能力を維持するのが精一杯で、レベルの向上を目指すことが困難となっている。

2) 本事業の実施状況

(1) オープンシステム、セミオープンシステム病院概要 H19. 4. 1現在

病院名	全病床数	産科 病床数	MFICU 病床数	NICU 病床数	年間 分娩数	産科 医師数	助産師数
県立広島病院	750	27	9	9	659 (H18年度)	9	51

(2) オープン病院化連絡協議会の運営状況

① 連絡協議会の構成員

- 自治体関係者：広島県
- 関係医療機関・関係団体：県立広島病院、登録医療機関代表(2施設)、広島大学病院、地域周産期母子医療センター、広島県医師会、広島県産婦人科医学会
- その他：県民代表(子育て支援サークル代表)

② 連絡協議会開催状況(開催日、協議内容等)

- 第1回 平成18年8月28日

協議内容

- ① 国の周産期医療施設オープン病院化モデル事業の概要について
- ② 広島県における周産期医療の現状とモデル事業の実施について
- ③ モデル事業の具体的な流れについて

- 第2回 平成19年3月19日

協議内容

- ① モデル事業を実施している他県の状況について(報告)
- ② 平成18年度モデル事業の実施状況について
- ③ 平成19年度モデル事業の実施計画について